

式 辞

街角の木々のつぼみも日ごとにふくらみ、寒さの中にも躍動する春の息吹を感じる今日の良き日敬愛学園高等学校第67回卒業証書授与式を厳肅かつ晴れやかに挙行できますことを心から感謝申し上げます。ただ今426名に卒業証書を授与いたしました。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今皆さんの脳裏には本校での出来事が次から次へと走馬燈のようによみがえっていることと思います。皆さん一人ひとりが本校の建学の精神『敬天愛人』をモットーに充実した高校生活を送りました。毎日の学校生活で見せた明るく素直な生活態度、学校行事で示した集中力と団結力、放課後の部活動や生徒会活動でのひたむきで誠実な取り組み、これら全てが本校の良き伝統としてこれからも後輩たちにしっかり引き継がれていくものと確信しています。

さて、私たちの日常生活は新型コロナウイルスにより一変しました。マスクをして生活することが当たり前のようになり、町中の至る所で、『感染防止対策』の文字を目にします。そのような中で、皆さんの高校生活も大きな影響を受けました。楽しみにしていた修学旅行をはじめ様々な学校行事や部活動の大会などが中止や縮小され、その度にやるせない思いをしたことと思います。目に見えないウイルスがここまで人間の生活に入り込み、影響を及ぼすことになるのは想像出来ませんでした。その一方で、自分が出来ることを徹底することで、感染者を減少させ、医療現場の逼迫を防ぎ、人の命を救うことが出来ることも学びました。皆さんがこれから歩む社会は、このような未知なる感染症の流行だけではなく、地球規模のエネルギー・環境問題や食糧問題、そして、国内では急速に進む少子高齢化など様々な課題を抱えています。さらに、人工知能やロボットをはじめとする先端技術の加速度的な進歩により、変化が激しく先行きが不透明な社会でもあります。そのような厳しい状況ではありますが、皆さんには「人生百年」と言われる時代に、是非、充実した人生を歩んで欲しいと願っています。卒業に当たって、私から皆さんに2つお願いがあります。

1つ目は、思いやりの心を大切にし、豊かな人間性を備えた人になって欲しいと思います。コロナ禍にあって、感染しないように自らの行動を厳しく律するのは、自分自身のためだけではなく、家族や身近な高齢者など大切な人を守るためでもあります。他者への思いやりは、結果として、自らも幸せにしてくれます。さらに、周囲の人から信頼されることにもつながります。本校の建学の精神である「敬天愛人」を、卒業後も実践し続けて欲しいと思います。

2つ目は、高い志を持って、失敗を恐れず挑戦し、最後まであきらめずに粘り抜く人になって欲しいと思います。皆さんには無限の可能性があります。限界は他人が決めるのではなく、自分の心の中にあるものです。挑戦する前から自分の限界を決めないでください。時には失敗することもあると思いますが、その経験が自分を成長させてくれると信じて、前に進んでいってください。そして常に将来に希望を持ち、変化に対応しながらも、周囲に流されることなく、自らの座標軸をしっかり持って主体的に生きていってください。

結びになりますが、皆さんが、高校卒業という人生の節目を迎え、最も喜んでいらっしゃるのには、これまで皆さんを一番近くで支え、見守り続けてくれた保護者・ご家族の方々です。本日は、感染拡大防止のため、誠に残念ですが、保護者の皆さんにはご参列を見合わせていただきました。今日家に帰りましたら、卒業の報告とともに、感謝の気持ちを言葉で伝えてください。

それでは、希望に満ちた門出に当たり、この学舎を巣立ちゆく皆さんの前途に幸多からんことを心から祈念して式辞といたします。

令和4年3月1日

敬愛学園高等学校 校長 奥山 慎一